

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	杜のアトリエ黎明改修事業			会計	款	項	目	大	小
				01	10	05	08	01	61
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	図書・博物館				
施策	3-4	ながれやま市民文化の継承と醸成		主管課長	小栗 信一郎				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	杜のアトリエ黎明の利用者	意図	社会教育ギャラリーとして良好に管理し公開施設として快適に利用していただく。
事業内容	軽食の提供を始めるにあたり、厨房及びオープンテラスの整備を行う。			
事業開始から現在までの状況変化	従来からの喫茶に加え、平成30年度から軽食の提供を始める。このため、厨房の改修工事・備品の購入及びオープンテラスの遮光・雨除け等の整備を行う。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
指標で表すことができない定性的な成果	利用者がより快適に、満足感を味わうことができる。				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）			
事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度	厨房の整備により、喫茶店営業許可から飲食店営業許可を取得することができたため、提供する食品のメニューが増えた。また、オープンテラスの整備により、庭園の鑑賞の仕方に新たな側面を加えることになった。				
事務事業の総計(a=b+c)			4,391,517					
事業費(b)(円)			2,702,937					
うち一般財源			2,702,937					
職員給与費(c)(円)			1,688,580					
人役・職員(人)			0.24					
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)			0.06					
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	指定管理者と連携を取り、喫茶提供サービスの充実を図るための施設の改修及び修繕を行う。	③取組における課題(Check)	平成13年管理引継ぎによる会館以来、建物全体において経年劣化が見られるため、指定管理者と連携をとり、建物診断結果に基づき修繕計画が必要である。
②H30に実施した取組(Do)	指定管理者と連携を取り、厨房設備の改修・オーニングの設置、施設の改修を行った。	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	平成31年度については、地震対策として、万年塀の改修を実施したい。